



# かいた病院だより

## 第20号

発行 本田宜久  
編集 広報委員会  
連絡先 TEL 09496-2-2131



## 短期時間通所リハビリテーション「りらいふ」開設のお知らせ

平成29年5月より穎田病院の新たな取り組みとして「短時間通所リハビリテーション りらいふ」を開設することになりました。名称「りらいふ」の由来は、患者さんご自身が再び(Re)元の生活(Life)に戻れるよう、願いを込めまして、この名称に決定しました。「短時間通所リハビリテーション」とは、要介護者、要支援者の方に1~2時間、専門のセラピストがそれぞれの障害や状態に合わせた運動を行い、生活指導に重点を置くリハビリ中心のサービスです。一人一人の豊かな生活を考えて適切なリハビリテーションをご提供させていただきます。病院での外来リハビリと同じような感覚でリハビリが出来、リハビリテーションに特化した新しい通所リハビリテーションです。対象となるのは、介護保険の認定を受けられている方のうち、退院後の継続リハビリ、日常生活に支障をきたしている方、訪問リハビリからの移行、健康寿命の延伸を目的として主治医から通所リハビリが必要と判断された方となります。

当院の「短時間通所リハビリテーション」の特徴として、体組成測定や体力測定を行い、日ごろの運動の効果判定を客観的に行います。また、「りらいふマップ」を活用して日常生活上で出来ない事や興味があること、自宅や地域での役割などを明確化し、一人ひとりに合わせた目標を立てます。そこから5段階程度の短期目標を立ててリハビリテーションを行います。目標を段階的にステップアップしていきますのでやる気と達成感を実感していただけます。リハビリテーションにより目標達成後は卒業し、地域生活の中で活動と参加を目指していきます。

「したい」を「できる」に、「できる」を「している」に、利用者様とご家族が、毎日笑顔で過ごす事が出来るよう、お手伝いさせていただきます。詳しくはパンフレットをご覧ください。

## 時事通信

## 肺炎球菌ワクチンについて

春、新しい年度が始まりました。今年も良い一年になることを願いたいですね。さて、今日のお話は「肺炎球菌ワクチン」についてです。みなさんは肺炎球菌ワクチンと言われて、ピンとくるでしょうか。2011年以降、「肺炎」は日本の死亡率の第3位になっています。現在、高齢化の影響もあって、肺炎で亡くなる方は年々増加しています<sup>1)</sup>。

「肺炎球菌ワクチン」とは、その名の通り、「肺炎球菌」という菌による感染を減らしてくれる「ワクチン」のことです。肺炎球菌は、肺炎以外のいろんな感染症も起こします。これは「肺炎球菌感染症」と呼ばれています。肺炎球菌ワクチンを打つと、この肺炎球菌感染症を減らす効果がある<sup>2)</sup>とされているのです。

さて、どんな人が打った方がいいの？ということですが、ズバリ「65歳以上の方」は推奨されています。他にも「持病のある方」「施設入居中の方」「喫煙者」「脾臓の手術をした方」などいくつかあるので<sup>3)</sup>、気になった方は医師にぜひご相談下さい。飯塚でも、今年度65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる方と、65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に重度の障害があったり、免疫が落ちている方は、助成金が利用でき<sup>4)</sup>、通常8,000円のところを2,400円(小竹・直方・宮若・鞍手は2,500円、田川地区は3,000円)で接種できます。なかなかオトクですね。

新しい一年を元気に過ごすために、気がかりなことがあればいつでもご相談下さい。

1)三木 誠,特集 感染症-肺炎-;日呼吸誌 2(6),2013

2)Cochrane Database Syst Rev. 2013 Jan 31;1:CD000422.

3)MSD 株式会社;成人用肺炎球菌ワクチンの接種について

4)厚生労働省 HP;肺炎球菌感染症(高齢者) Q&A

家庭医 松本朋樹

## 地域の講演活動に参加

1月17日(火) 穎田子育て支援センターにおいて、一ノ瀬医師が「応急救護」の講演を行いました。お母さんたちは子どもたちと一緒に参加され、とても和やかな講演会となりました。



3月9日(木) 鯉田公民館において、新道医師が「五感を活かした認知症ケア」の講演を行いました。認知症の症状や見通しを説明し、どのように周囲が関わっていくのが良いか一緒に考えていただきました。



# TQM 活動について

今年2月に病院全体で医療サービスの質を継続的に向上させる活動（TQM 活動）をスタートいたしました。今年のテーマは『おもてなしのこころ』で、8サークルがテーマに沿った「カイゼン」に取り組みます。毎年サークル毎に工夫があってとても面白い活動の1つです。患者さんやスタッフ間の言葉づかいや挨拶など、職員ひとりひとりがおもてなしの心を持って活動に取り組みます。4月現在においては、各サークルがTQM事務局よりアドバイスを受けながら、進行状況の確認を毎月行っているところです。まずは夏の発表大会に向けて活動を取り組んでいきます。そして、発表だけにとどまらず、活動内容を継続して今まで以上に患者さんへの質の高いサービスを提供できるよう、病院全体で努力いたします。



## 平成29年度新入医師の紹介



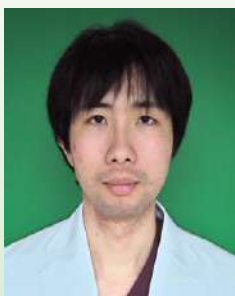
もちつき かすお  
望月 一生（医師）

在宅医療を学びに筑豊にやってきました。  
皆さんのお役に立てればと思います。  
宜しくお願いします。



なかむら さき  
中邑 咲（医師）

熊本出身なので、飯塚市での生活・人との出会いを楽しみにしています。  
これからどうぞよろしくお願い致します。



きたの しゅんすけ  
北野 峻介（医師）

はじめまして。千葉出身ですが、8年間長崎で生活し、今年から飯塚に来ました。精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。



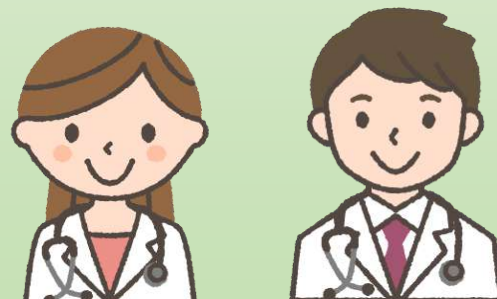
はせがわ じゅんいち  
長谷川 順一（医師）

飯塚市の皆様初めまして。  
兵庫県神戸市出身です。皆様とより良い地域を築けるよう励みます。



わたなべ いさお  
渡邊 功（医師）

先日飯塚病院での初期研修を終えました。美味しいご飯と暖かい人柄が魅力のこの筑豊地方で、引き続き地域医療に尽力致します！



## ステーションタイム

在宅医療センターでは、在宅医療を行ううえで連携している訪問看護ステーションを対象に、当院の主治医、訪問看護師、ソーシャルワーカーと面談を毎月2回開催しています。訪問看護ステーション毎に時間を区切り、関わっている患者さん・ご家族さんの情報共有や問題解決、今後の連携に関する相談等様々なお話をさせて頂いております。また、訪問看護ステーション毎に時間を区切っておりますので、個人情報も保護され安心して相談できる場となっております。参加された訪問看護ステーションからの感想として、「直接主治医と話せるのでよかった」「相談がしやすくなりました」等の感想が聞かれています。

今後もステーションタイムを通し、訪問看護ステーションとの顔の見える関係づくりが構築でき、今まで以上に連携を強化できるよう開催していきたいと思っております。



## BLS 研修

当院では、毎年全職員対象に一次救命処置（BLS）の研修を実施しております。さらなる技術の向上と緊急時こそ冷静に対応することが求められる救命処置の訓練を目的とし、3月6日と9日の2日間に分けて、当院全看護師を対象に実施しました。

訓練内容は、医師による救命処置に必要な知識の講義とICLSインストラクターによるデモンストレーションを行い、各自役割を明確にした上で急変時（意識不明・心肺停止）の発見から医師到着後の気管内挿管を行うための一連の動きについてでした。

各グループ毎に活発に声を出しながら素早く動き、それぞれの疑問や不安、気管内挿管を行う介助の方法や注意することなどを確認しながら実施しました。

これからも患者さんの救命と安全に取り組んでいきます。



## 【診療担当表】※平成29年4月17日現在

		月	火	水	木	金	土
総合診療科(午前)	初診	吉田 長谷川 中邑 堀之内	一ノ瀬 中邑 安田	金 木村 武末	吉田 中邑 安田	茂木 渡邊 武末 堀之内	当番制 (午前)
	再診(予約)	新道 安田 武末	吉田 長末 渡部	茂木 西園 松本と	檜田 金 赤岩	井村 一ノ瀬 小田 大杉(月1)	
総合診療科(午後)	初診	檜田	吉永/望月	堀之内	新道	安田	
	再診(予約)	本田	深町(15:30まで)	-	本田	-	
小児科	午前	家庭医	家庭医	家庭医	家庭医	家庭医	
	午後	一ノ瀬	吉永	堀之内	新道	安田	
ワクチン(午後)		中邑 (一ノ瀬)	-	-	武末 (金)	-	
外科		家庭医	家庭医	家庭医	家庭医	家庭医	
予約外来	整形外科 (14:30~16:30)	-	非常勤医 ※紹介制	-	-	非常勤医 ※紹介制	
	内視鏡	-	茂木 (上部のみ)	木村	-	-	
	甲状腺 (第2水曜・午前)	-	-	萬代	-	-	
眼科		-	-	山中	-	-	
耳鼻咽喉科 (午前)		-	-	-	-	非常勤医	
禁煙外来		中邑(午前)	-	-	武末(午後)	-	
腎臓内科 (午前)			中下	中下	中下	中下	
婦人科 (午後)		-	-	-	松岡 安田		

## \*診療受付時間\*

- ・午前：8:30~11:30(月~土)
- ・午後：14:00~16:30(月~金)

## \*休診\*

- ・土曜(午後)、日曜、祝日、年末年始

## \*お問い合わせ\*

医療法人博愛会 穎田病院

〒820-1114福岡県飯塚市口原1061番地1

TEL 09496-2-2131(代表)

## さくらカフェ開催

潁田病院では年6回（2ヶ月に1回）さくらカフェ（認知症カフェ）を開催しています。本年度第5回目となる今回は、当院介護福祉士・看護師による『介護・看護講話』というテーマで開催させていただきました。

介護の講話では、認知症の方と接するときの具体的な方法について、看護の講話では、認知症の方に起こりうる症状についての対応について、お話させていただきました。今回は19名とたくさんの方にご参加いただき、茶話会では講話での内容のことや認知症の方と関わる中で日々思うことなどお話は尽きず、とても盛り上がりました。スタッフ一同といたしましても、ご本人・ご家族・地域の方・専門職の方とお関わりさせていただくことで、日常の思いや悩みをお伺いさせていただくことができ、とても勉強になったと感じています。ありがとうございました。



## 飯塚市立小中一貫校潁田校小学部 6年生への講演会

飯塚市立小中一貫校潁田校小学部が取り組んでいる『ぼくたちの未来予想図』というキャリア教育の中で、潁田校小学部6年生を対象とした講師依頼がありました。開催は平成29年2月となりましたが、当院から医師、薬剤師、看護師、理学療法士の計4名が講師として参加し、こどもたちに熱いメッセージを送りました。こどもたちからの質問内容としては、「その職種になろうと思ったきっかけ」「どんな勉強をすれば良いのか」など、興味津々に講師たちへ質問していました。

将来を担うこどもたちと楽しい時間を共有することができ、当院で「働きたい」と思ってくれるこどもたちがいてくれたら幸いです。これからも微力ながら地域に貢献していきたいと思えます。

